

電気職 インタビュー

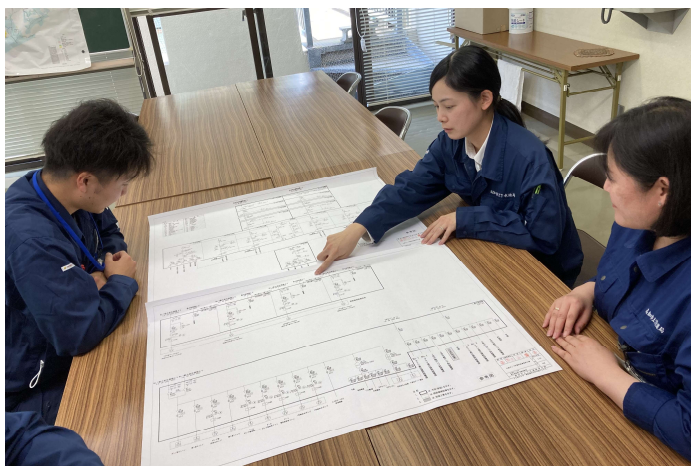


岩崎 留加
浄水課 浄水施設担当
熊本県出身



自身が担当している業務について教えてください。

針木・旭浄水場や取水所などにある電気設備の工事設計や、監督業務を担当しています。業務は、新設だけでなく、改修や更新工事もあり、直近では、直流電源盤・蓄電池盤の更新工事を行いました。



職場の雰囲気はどうか？

浄水課は、針木浄水場内にあり、機械・電気工事の設計や、各施設の運転・管理、水質管理など、男性35名・女性10名が在籍しています。職員同士の会話や議論が活発で、相談しやすく、自分の専門分野以外の知識も学べ、明るく働きやすい職場です。

民間を経験されてからの入庁ですが、民間との違い、また、実際入って感じた上下水道局の仕事の魅力は？

民間に勤務していた時は、半導体部品の製品設計をしており、製品を「設計して完結」していました。今は、工事設計で終わらず、設計したものを形にして、稼働する様を見られる魅力があります。また、上下水道局は、土木職をはじめ、機械職や化学職、電気職、事務職など、多くの職員が一体となり、「安全で安心な水」を届けています。ライフラインが途絶えないよう、責任と誇りをもった仲間と市民の生活を支える、働きがいのある仕事です。

これまでの局の仕事で、印象に残っている出来事は？

初めて担当した工事が、印象に残っています。水道水の配水をできるだけ途絶えさせずに施工することが条件で、作業できる時間が短く不安でした。先輩たちの助言をもらいながら、受注業者と施工手順を確認し、打ち合わせを重ね、最後の作業を時間内に完了したときは、監督職員として、何事にも代えがたい達成感を得られました。





就活中の方にメッセージをお願いします！

子育てをしながら入庁した私ができることは、
「いつでもチャレンジはできます！」
「上下水道局の扉は広いです！！」
休暇制度など福利厚生も充実しています。ワー
ク・ライフ・バランスのよい職場で、一緒に働き
ましょう。